



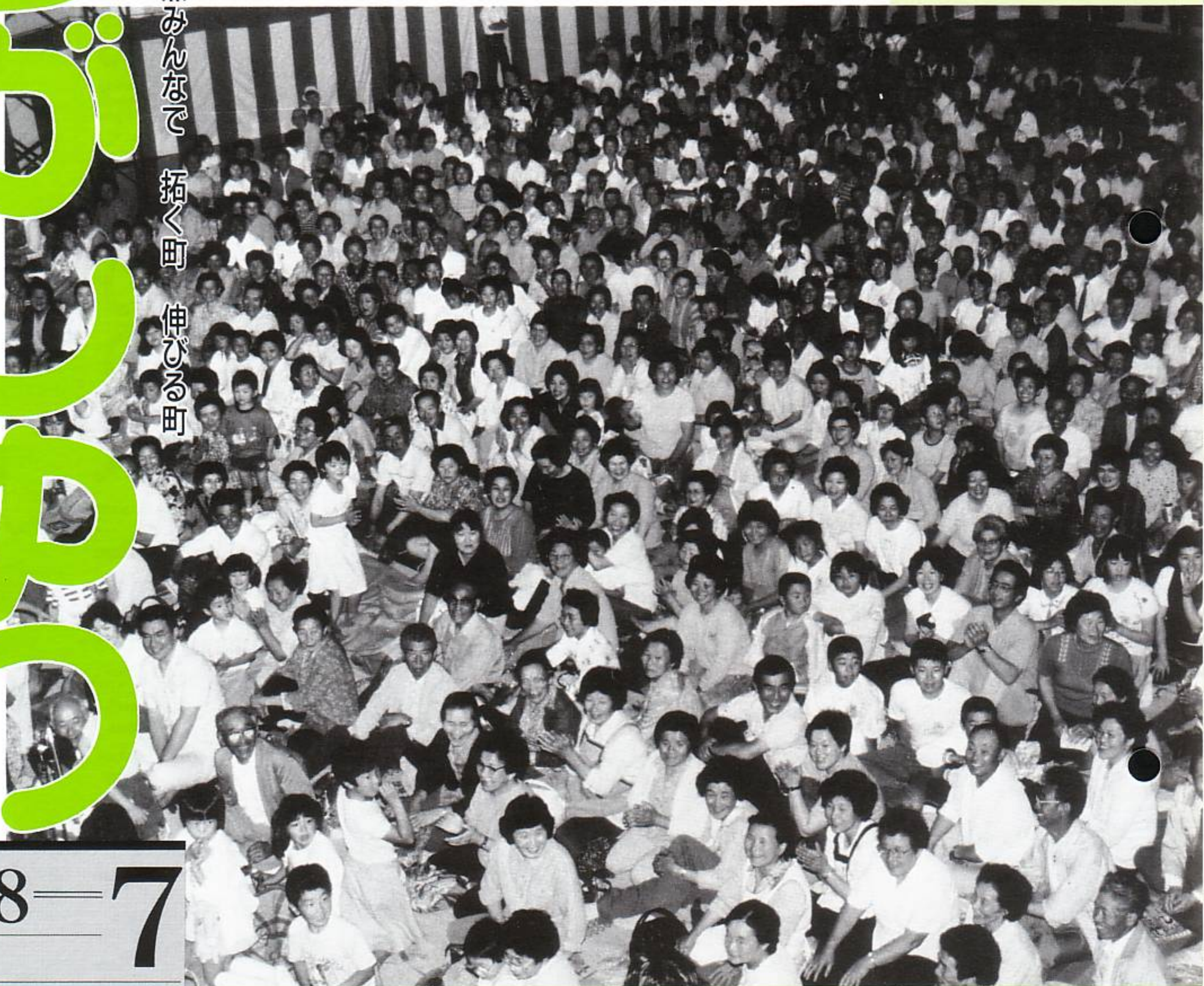
広報

びがしゅわ

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町



▲町畜産共進会が六月二十日、八十頭の肉・乳用牛が出陳して開かれました。会場には四つ子の子牛も展示され人気を呼びました(8ページ)



1988—7
No.400

昭和63年7月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- ・ 広報400号発行記念特集
「あなたにとって広報とは」
- ・ 六月定例町議会
「国保条例の一部改正案などを可決」
- ・ 町畜産共進会
「10産以上の多産牛54頭を表彰」
- ・ 町敬老会 「723人を招待」



▲恒例の町敬老会が六月二十一日から三日間有鄰館などで開かれ、四百六十人のお年寄りが元気に出席しました(10ページ)

▲山谷初男など秋田県出身の俳優三人による「芝居とバラエティショー」が、六月二十四日健康増進センターで開かれ、約千人が本物の芝居に酔いしました(12ページ)

あなたにとって広報とは：

町民400人に聞きました。

● 広報400号発行記念特集 ●

「広報ひがしゆり」が創刊以来第四百号を迎えました。

昭和三十年に「東由利村報」第一号を発行、以後昭和四十九年には町制施行により

「東由利町報」に、そして昭和五十九年から「広報ひがしゆり」と名を変えながら、

三十三年の歳月を経て現在に至っています。

そこで今月は、第四百号の発行を記念しアンケート調査を行いましたので、その結果と、ご寄稿くださった四人の方々の意見や感想をご紹介します。

アンケート結果や同時に寄せられたご意見などは、今後より読まれ、親しまれる広報紙づくりに役立てていきます。



15歳以上の町民 10人に一人を対象

アンケート調査は、住民基本台帳から等間隔抽出法により、十五歳以上の町民十人に一人の割合で選んだ四百人を対象として行いました。

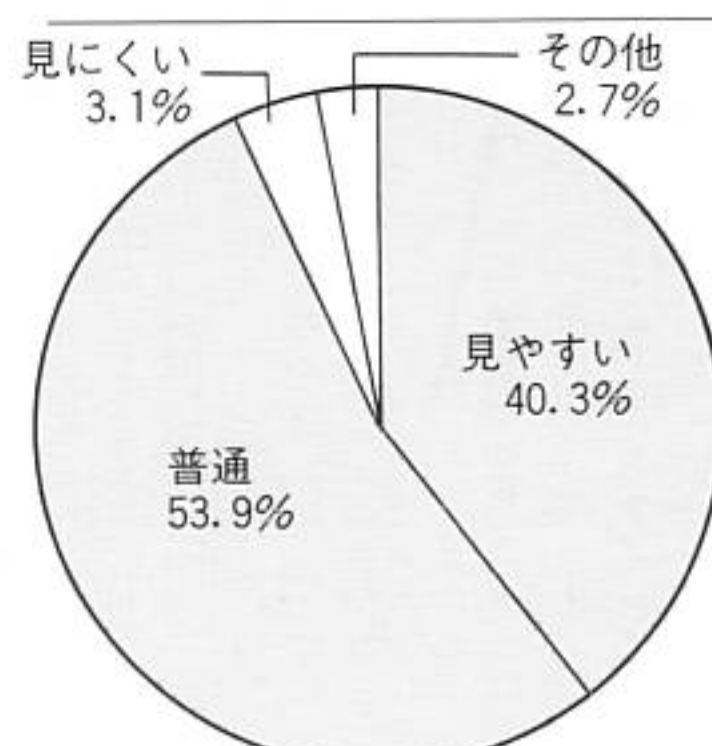
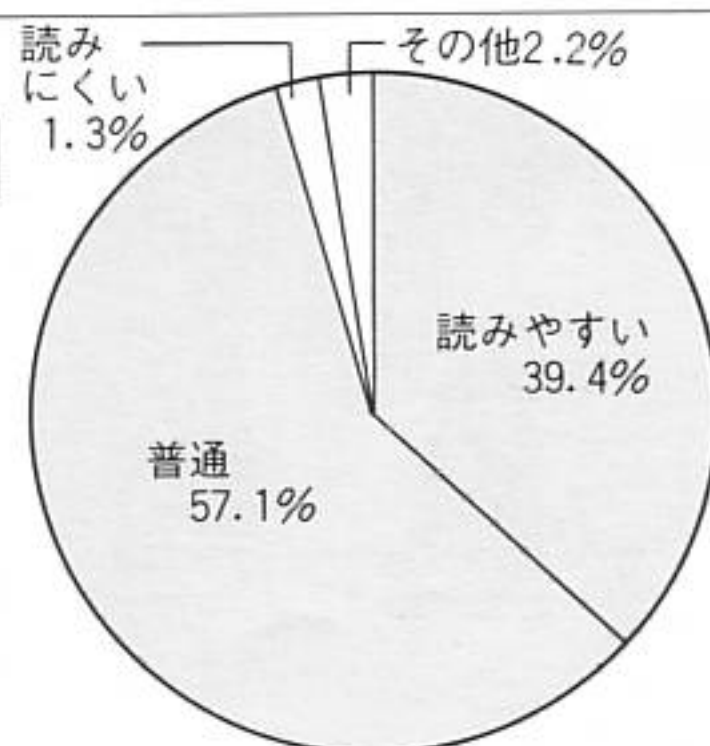
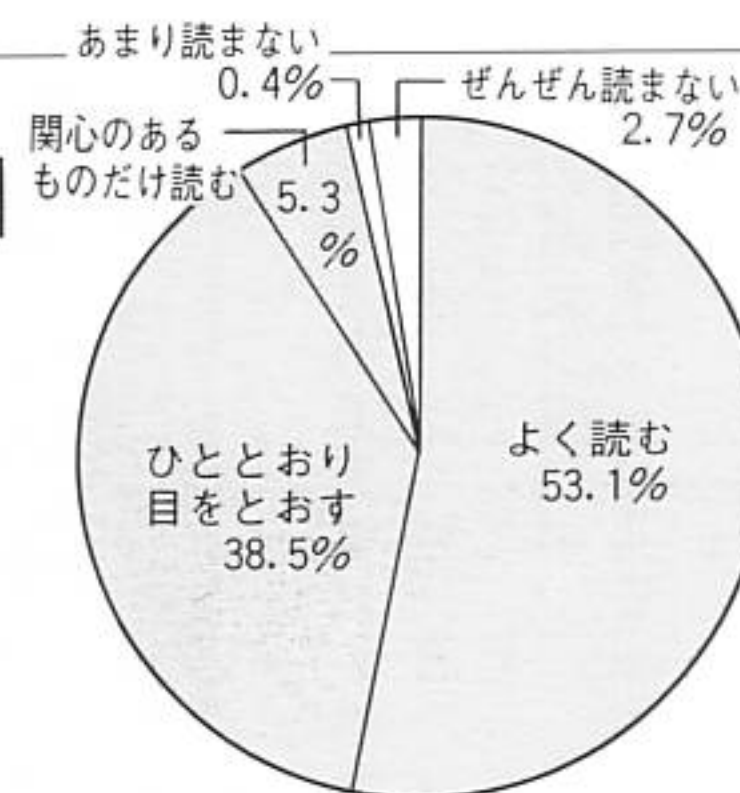
調査票は直接本人に郵送し、回答後本人から自治会長宅へ届けていただくという回収方法をとりました。この結果二百二十六人の調査票が回収でき、回収率は五六・五パーセントでした。

回答をいただいた方の内訳は、男性が四三割の九十七人、女性が五七割の百二十九人で、年代別の

割合では、十代六・七割、二十代八・四割、三十代一九・六割、四十代一〇・六割、五十代一八・四割、六十代三六・三割となっています。

「読んでいる」 町民は97パーセント

広報紙について(図・1)は「よく読む」五三・一割、「ひととおりの目をとる」三八・五割、「関心のあるものだけ読む」五・三割で、「あまり読まない」、「ぜんぜん読まない」は三・一割でした。読まないと答えた人はすべて六十代で、その理由として「字をよく読めない」、「目がよく見えない」





広報400号によせて

広報は、我が家の話題源

宇戸坂 佐藤真佐子さん(主婦・39歳)



見て、聞いて、そして話して、「広報ひがしゆり」は、家族の話題源として我が家で活躍しています。町と家庭のパイプ役の広報、スナップの多いグラフィックな記事や、説得力のある文章など、家族のだんらんの話題源になることが多く、また、町の情報が求めにくい主婦の社会生活に、有効な役割を果たしています。

今後、時代感覚を大いに取り入れた広報を前に、我が家の話題の輪を広げたいと思います。

心に友好のきずなが深まる交流紙として…

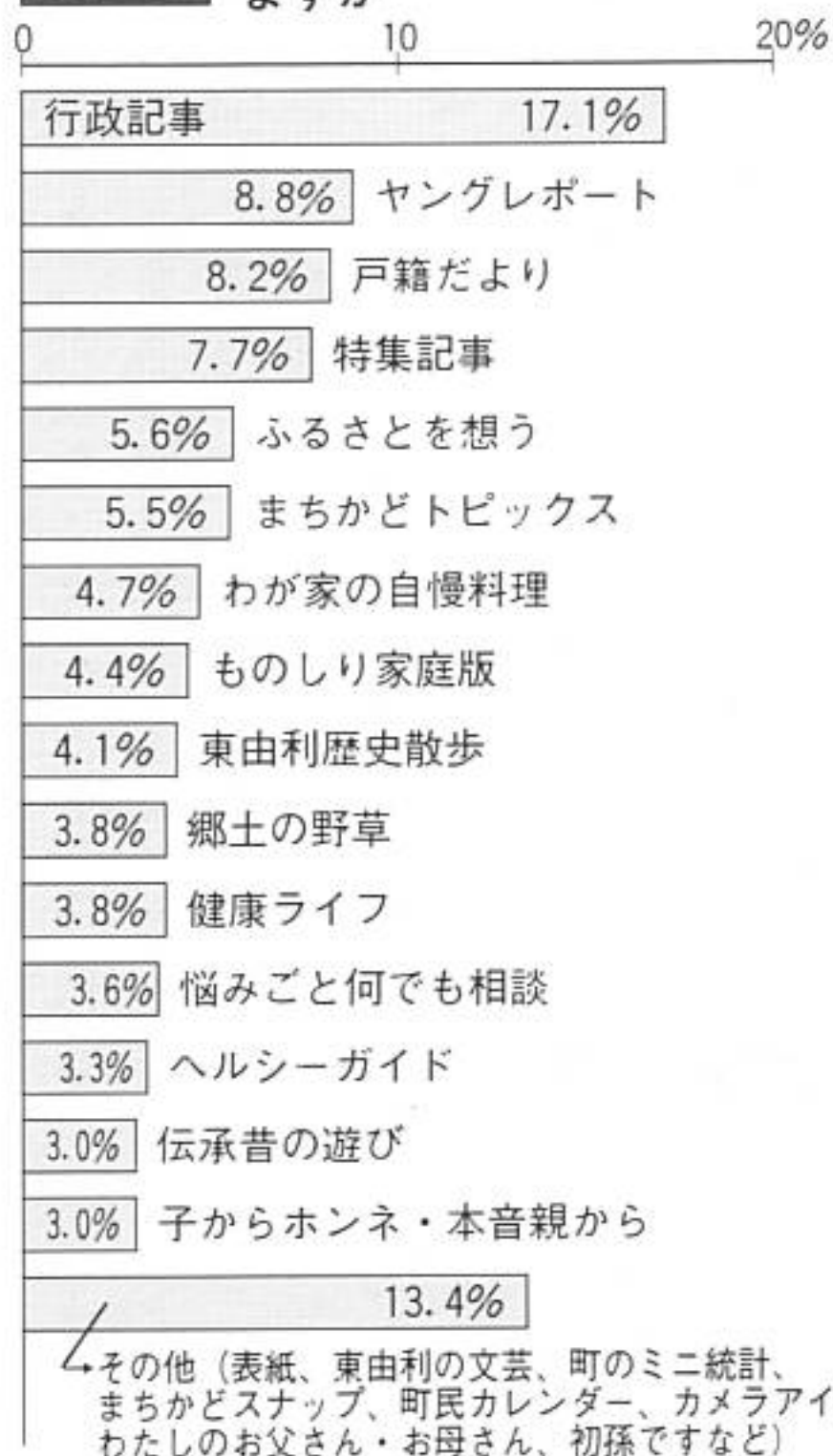
蔵新田 伊東健一郎さん(会社員・45歳)



現在は激動の状況下にあつて暗いニュースが多い中、「広報ひがしゆり」には明るい記事が多く、未来に向けた希望紙として更に明日の東由利発展につながることを心から期待しています。

社会に貢献している人、町出身で県外で活躍している人など、興味深く拝見するたびに、感動し励みになっています。今後も、心に友好のきずなが深まる交流紙として、ますます充実した広報紙づくりに頑張っしてほしいと思います。

図・2 どんな記事に関心がありますか



などをあげています。

このように、全体の約九七割とほとんどの人が目をとおり、数多くの印刷物が発行されている中で、若い人からお年寄りまで幅広く支持されていることがわかりました。今後この支持を保持、拡大していくためにも、企画・内容の充実に、更に努力していくことが課題とされます。

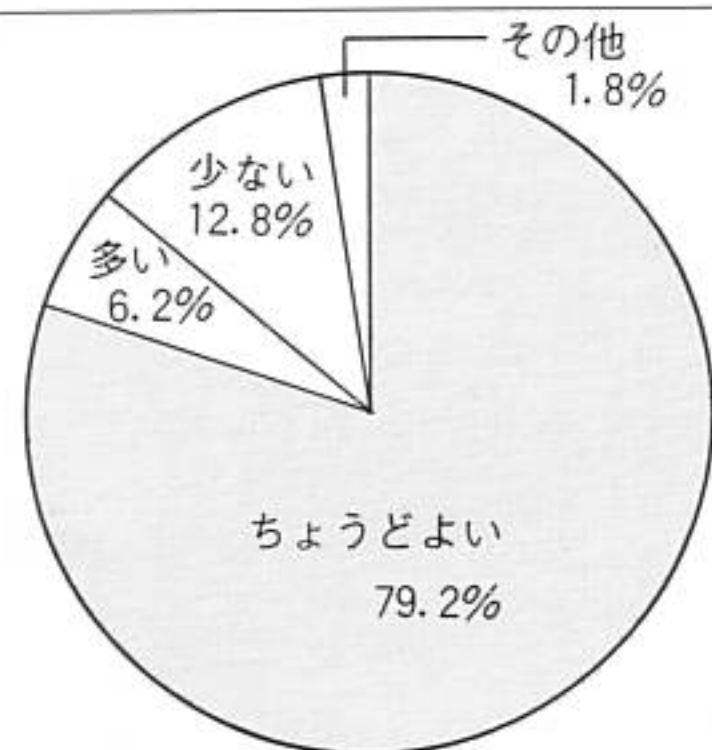
行政記事に高い関心

広報の内容を分類して関心のある記事を二つを聞いたところ「行政記事」が最も高く一七・一割でした。以下は「ヤングレポート」八・八割、「戸籍だより」八・二割、「特集記事」七・七割、「ふるさとを思う」五・六割、「まちかどトピックス」五・五割…(以下、図・2参照)などとなっています。

この結果から、町政への関心の高さが浮き彫りになったことと、「戸籍だより」や「まちかどトピックス」など、身近な情報に強い関心のあることがわかりました。また「わたしのお父さん・お母さん」、「ふるさとを思う」、「伝承昔の遊び」、「わが家の自慢料理」、「子からホンネ・本音親から」、

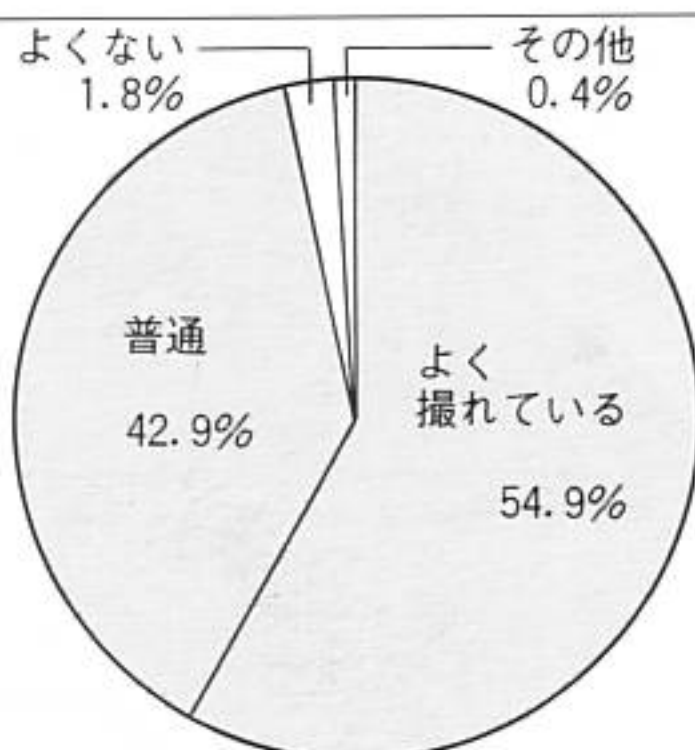
図・5

記事の量は



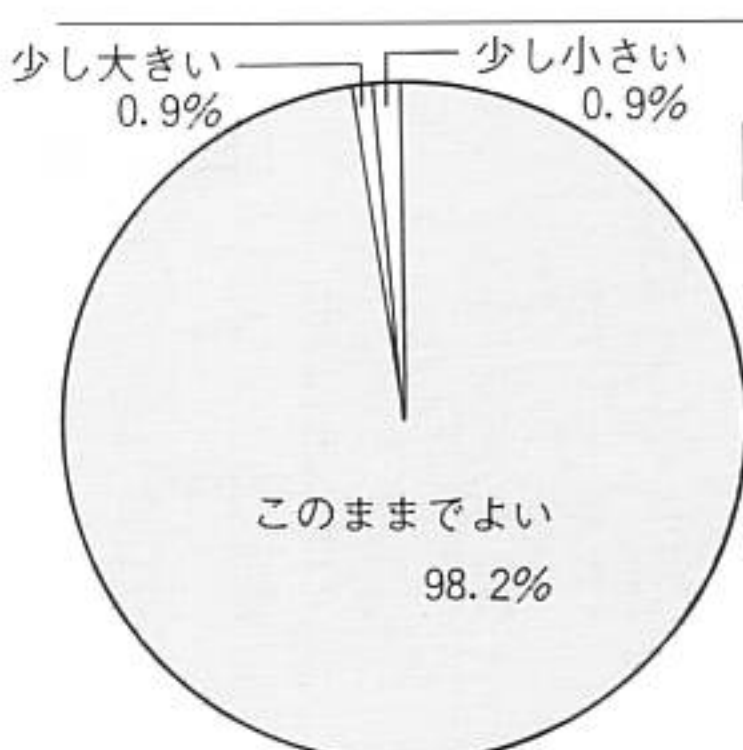
図・6

写真は



図・7

紙面の大きさは



● 広報400号発行記念特集 ●

広報400号によせて



町民参加の広報紙として町民の声を多く…

地下の沢 池部アツ子さん(主婦・49歳)

「初孫です」など、子どもからお年寄りまでたくさんの方が登場する「みんなの広場」は、二六割と高い関心が示されています。

大きな活字を60代が希望

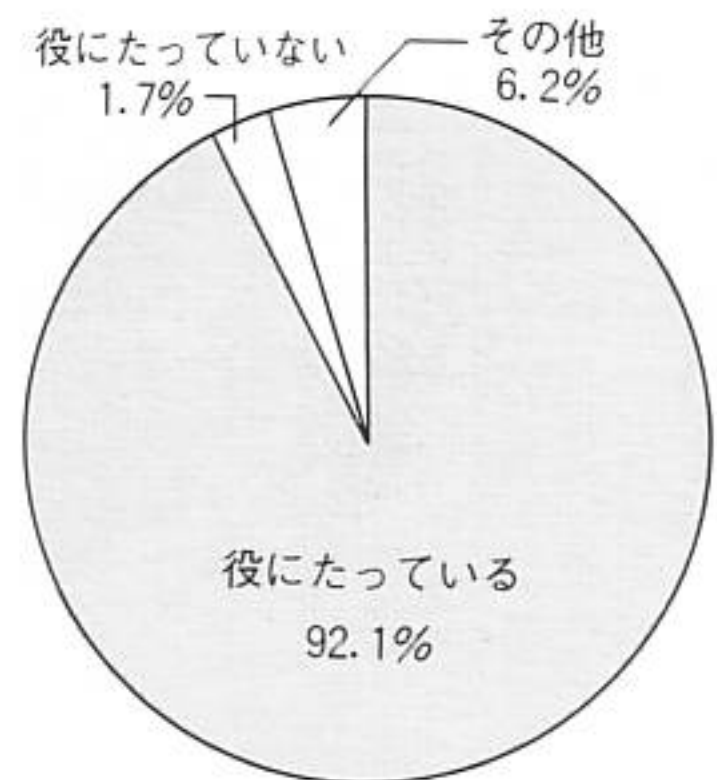
「広報紙は読みやすいと思いますか」(図・3)の問いでは、「読みやすい」三九・四割、「普通」五七・一割で、約九七割とほとんどの人が満足しています。また、「読みにくい」一・三割の理由として活字が小さいことを、六十代の方が指摘しており、高齢化社会の到来で今後ますます高齢人口の増加が予測されることから、活字を大きくした読みやすい紙面づくりの検討も必要になるものと思われます。記事の配置について(図・4)は約九四割が満足し、「見にくい」三・一割の理由としては

「広報ひがしゆり」は毎月読んでいます。町の動きを知ることができ、また「みんなのひろば」では知人が登場したりするのでとても楽しみです。

今後より充実した広報紙のために、町民の意見を多く取り上げ、個々が抱えている問題点などについて町民みなで考え合える場をつくってほしいと思います。また、町民と町との連帯感を深めるためにも、町の実態をあらさまにした記事も必要かと思っています。

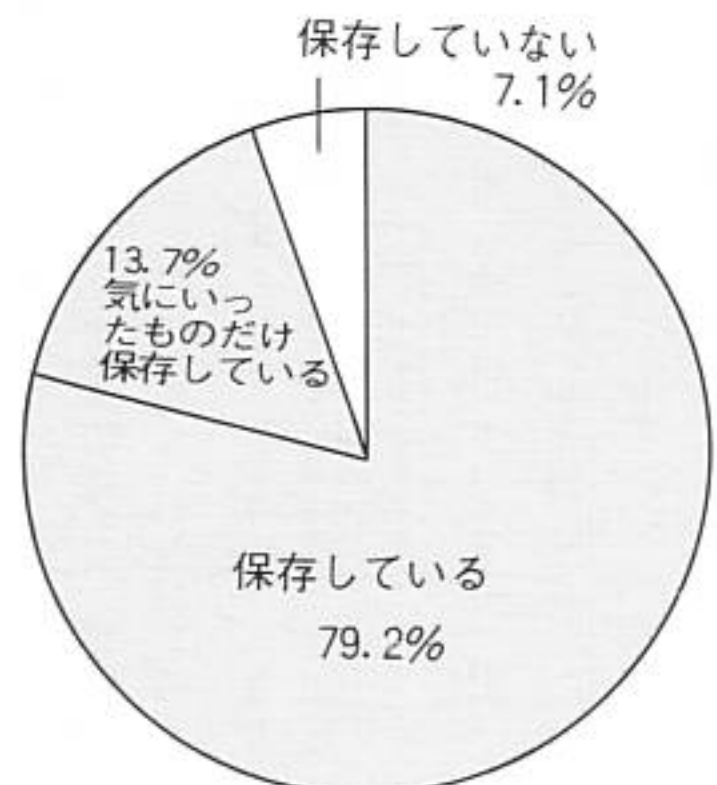
図・8

広報は役にたっていますか



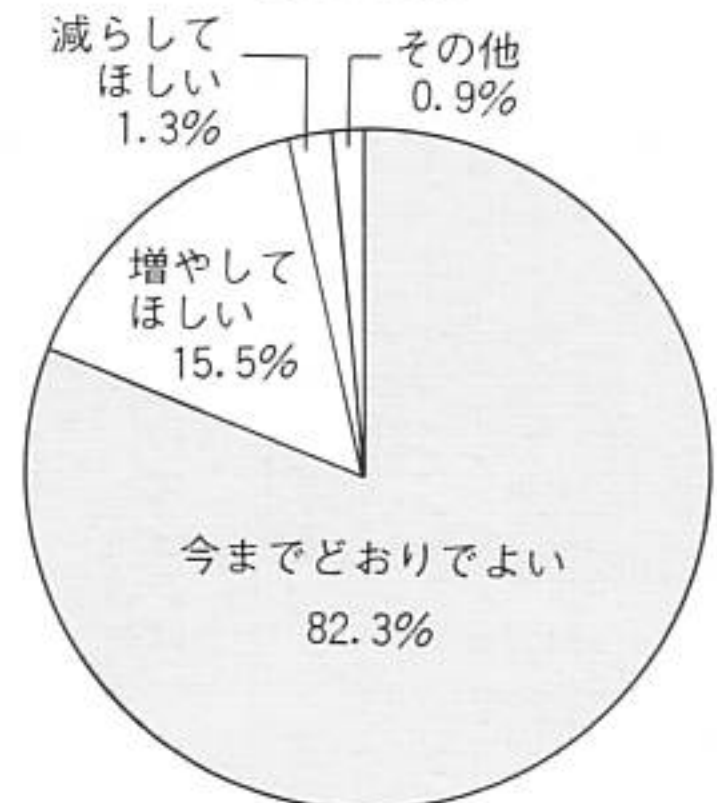
図・9

広報を保存していますか



図・10

ページ数について



「写真が大きすぎる」、「文字が少ない」などと、五十、六十代の方が答えています。

また、記事の量について(図・5)は、七九・二割が「ちょうどよい」、六・二割が「多い」、一・八割が「少ない」と答え、「多い」は特に二十、三十代が、「少ない」は各年代にわたって指摘し

ています。また、少ないと指摘した人の割合が約一三割と多いことから、町行政に対する関心の高きなどが伺われるところです。

写真について(図・6)は、約九八割が「よく撮れている」、「普通」と答え、「よくない」、「わからない」などが約二割でした。紙面の大きさについて(図・7)

「保存している」は79パーセント

「広報は役にたっているか」(図・8)の問いでは、約九二割が「役にたっている」と答え、約二割が「役にたっていない」、約六割が「わからない」としています。役にたっていないと答えた人のほとんどは十代でした。

また、役にたっていると答えた人からは「町の動きを知るために見逃せない」、「町民を知ることができる」など、添え書きの回答もいただきました。

広報紙の保存状況について(図・9)は、「保存している」七九・二割、「気に入ったものだけ保存している」一三・七割、「保存していない」七・一割となっています。「保存している」の七九・

大切な情報源として更に充実し町活性化に貢献を

大琴 鈴木国義さん(農業・63歳)



第四百号発行おめでとうござい

ます。一口に四百号といっても私たちの知らない大変な苦労もあつたことでしょう。最近では時代に合った編集方法として、写真を多くしたりデザインを工夫したりと、読ませるための配慮がなされ、その苦労が伺われるところです。

広報は私にとって唯一の町の情報源。これからも私たちの生活の糧になるような情報を提供し、町の活性化に貢献してくださるようお願いいたします。

二部は、同種のアンケートを実施した県内数ヶ町村の状況と比べてみる限り、かなり高い数字です。「広報ひがしゆり」は毎月十六ページを基本に編集していますが、ページ数について(図・10)は、「今までどおりでよい」八二・三割、「増やしてほしい」一五・五割、「減らしてほしい」一・三割で、ほとんどが現状が増えることを望んでいます。特に十代では半数以上の方がページの増大を望んでいます。



「広報ひがしゆり」6月号の「みんなのひろば」

「記事の量が少ない」(図・5)という回答結果とあわせて、ページの増大も今後の大きな検討課題になると思われます。

調査結果や意見等は 今後の紙面づくりに 生かします

「今後増やしてほしい記事がありましたらお書きください」の問いには、多くの方からいろいろな要望がありました。別掲しました

のでご覧ください。
このほかにも、ご意見や要望、提言がたくさん寄せられています。今後の紙面づくりに役立たせていただきます。

アンケート調査にご協力くださいました町民のみなさんに心からお礼を申し上げます。この調査結果をもとに、今後より内容を充実し、読まれ、親しまれる広報づくりに努めたいと思います。

見やすく(男)

●出稼ぎ就労先の様子等をもう少し載せて(男)

●三年に一度くらいは広報紙を綴る表紙を(男)

●広報と議会だよりが別々に発行されているが、町の行政記事に追加すれば一目で行政がわかり、親しみが持てるのでは(男)

で(女)

●町の記事をもっと細かいことまで(女)

●町の将来について町民みんなに考えてほしい記事も(女)

●各地域の催しなどの情報も(男)

●各家庭のホットな話題を(女)

●当番制で町内教師の寄稿も(女)

●町民の言いたいことを言う欄を設けてほしい(男)

●行政改革や内需拡大策などに町が具体的に取り組んでいることの報道と、昨年の水害を踏まえた対策、また護岸工事の推進状況などの報道を(男)

●「ヘルシーガイド」を増やして(男)

●終戦前後の町内の様子の写真掲載のコーナーを(男)

●国・県道沿いにくずかごを設置してどうか。集落単位に一・二つ(三十代男)

●役場通信の字をもう少し大きく(五十代男)

●豪雪や除雪車により壊れた道路標識やカーブミラー、ガードレールは美観を損ねるので雪消えと同時の早急な修繕を望む(六十代男)

大切にします。みんなの意見

●町議会議員のモットーとしてい

●他町村の特産物などを紹介する

●単なる報告紙に終らず、今後の

●結婚欄に写真も(女)

●町の事業及び予算などをもっと

●過疎や農業問題を抱え、町の方

●スパイクタイヤ廃止の報道があ

●意見等を広報で募り紹介を(男)

●「東由利歴史散歩」をもっと増

●写真の顔をカットしない

●表紙をはじめ各記事のポイント

●毎日汗を流して働いている人の

●ユーマアのある話題も(男)

●行政記事に議会関係の記事を増

●自治会の紹介も(男)

見やすく(男)

●出稼ぎ就労先の様子等をもう少し載せて(男)

●三年に一度くらいは広報紙を綴る表紙を(男)

●広報と議会だよりが別々に発行されているが、町の行政記事に追加すれば一目で行政がわかり、親しみが持てるのでは(男)

で(女)

●町の記事をもっと細かいことまで(女)

●町の将来について町民みんなに考えてほしい記事も(女)

●各地域の催しなどの情報も(男)

●各家庭のホットな話題を(女)

●当番制で町内教師の寄稿も(女)

●町民の言いたいことを言う欄を設けてほしい(男)

●行政改革や内需拡大策などに町が具体的にに取り組んでいるこ

との報道と、昨年の水害を踏まえた対策、また護岸工事の推進

状況などの報道を(男)

●「ヘルシーガイド」を増やして(男)

●終戦前後の町内の様子の写真掲載のコーナーを(男)

●国・県道沿いにくずかごを設置してどうか。集落単位に一・二つ(三十代男)

●役場通信の字をもう少し大きく(五十代男)

●豪雪や除雪車により壊れた道路標識やカーブミラー、ガードレールは美観を損ねるので雪消えと同時の早急な修繕を望む(六十代男)

●「東由利歴史散歩」をもっと増やして(同意見六十代女一、同男二件)▼写真の顔をカットしない

●「東由利歴史散歩」をもっと増やして(同意見六十代女一、同男二件)▼写真の顔をカットしない

●「東由利歴史散歩」をもっと増やして(同意見六十代女一、同男二件)▼写真の顔をカットしない

国保税条例の一部改正案などを可決

六月定例町議会が六月十四日、二日間の会期で開かれました。

初日は町長の行政報告、一般質問に続き、昭和六十三年一般会計補正予算案など六議案を提出、このうち国民健康保険条例の一部改正案など三件を原案どおり可決して散会しました。二日目は前日提出した昭和六十三年一般会計など補正予算三案件を審議し、原案どおり可決して閉会しました。

畠山町長は行政報告で、稲作、出羽丘陵開発事業、畜産などの状況について説明するとともに、「六十二年度分の町税が完納となり、これで二十三年間連続の完納となった。町民のみなさんの納税に対するご協力に深く感謝する」と述べました。以下、町長の行政報告、一般質問、議案、補正予算の概要についてお知らせします。

一般質問 畜産関係について 町長の考えをたずねる

問 出羽丘陵開発事業完成後、農家経営にどのような指導をしているのか。また、牛肉の輸入自由化問題に絡む借入金償還への影響についてはどう考えているか。

答 畜産広場の建設、畜産振興指導員の設置、農政指標としてのシンボル塔の建設、肉用牛増頭対策事業など、すでに町独自の具体的な行政施策を実施しています。今年度は功労牛の表彰制度を新設するとともに、今後はこれら一連の施策の延長線上で、指導体制を強化しながら堅実な経営指導を図っていききたいと存じます。

を経て、利息の償還が六十四年から、元金の償還期間は六十七年から始まりその後十七年間続くことになりました。受益者の負担区分は償還金の四二割で、一人当りの平均年間償還額は十二万九千九百三十八円となっています。牛肉の輸



6月定例町議会の議場 (6/14)

入自由化の影響にかわらず現在子牛は一頭平均四十万円を超える売買が行われていますので、堅実な経営がなされるならば今後心配はないものと思われます。

主な被保険者減少などで 所得割など改正

東由利町国民健康保険条例の一部を改正▼町国民健康保険被保険者の減少や老人世帯の増加などにより、同保険税の所得割額、被保険者均等割額、世帯別平等割額を次のとおり改正したほか、軽減額を二七・三二割引き上げた。

●東由利町国民健康保険税改正の内容

	改正前	改正後
所得割額	6.5%	7.2%
資産税割額	40.3%	同じ
被保険者均等割額(1人)	15,700円	16,100円
世帯別平等割額(1世帯)	24,700円	26,600円

※軽減額は省略

東由利町過疎地域振興計画の一部を変更▼町道の整備計画路線の追加や、観光開発計画の内容の一部を変更した。

行政報告

今議会における畠山町長の行政報告の概要は次のとおりです。

稲作▼六十三年度の転作目標

面積は二五一畝。良質米生産推進の結果、ササニシキは二六七畝、あきたこまちには四六六畝の作付けとなった。これは町全体作付面積の七八・六割にあたり、県平均の良質米比率と比べ倍以上となっている。今後の産地間競争に備えるため現在農協と提携し、あきたこまちの流通拡大を進めている。

出羽丘陵開発事業▼五十八年に着工以来六年目となり、加入三七団地中二十九団地が採草を開始している。本年十月に完工の予定で工事は継続中である。

畜産▼六十二年の子牛販売

頭数は九百八頭。一頭当りの平均価格は四十万八千六百五十四円で、前年度比で一頭当り約六万六千四百円の増となった。今年度に入り子牛の市場価格は更に上昇し、一

頭平均四十二万から四十三万円台と高値が続いている。

肉用牛増頭対策事業は好評で、予定の五十頭を上回る六十頭に奨励金を交付した。この結果成牛・育成牛が三十頭の増頭となり、県内各町村で頭数が年々減少している中、本町の増頭が県内外から注目を浴びている。

林業▼台山周辺環境緑化整備

事業として、台山のがけ地にツツジとアジサイ約四千本を植樹、今後三カ年計画で花木を植樹する。来年度の実施に向けて調査中の「ふれあいの森林」(分収育林)整備事業は、林木の評価の委託などについて、県林業公社とともに事前調査に入った。

道路▼国道一〇七号線▽宿工

区が橋台と根城館付近の堀切土工、奥ヶ沢工区が上川原付近の下層路盤工事と盛土工事が発注された。

県道関係▽樽淵横渡線の横渡地内と山崎鴻屋十文字線柴倉地内の道路改良工事及び、横手東由利線老方地内の流雪溝設置工事が発注された。

坪倉線▽一工区分は二百㍓を発注、二工区分は坪倉口から二百九十㍓を六月中に発注する予定。

投票日は今月10日

町議選挙5日に告示・有鄰館で即日開票

前回（昭和59年）町議会議員の選挙（第6投票区）



七月二十二日任期満了による町議会議員選挙は、六月三日に開かれた町選挙管理委員会で、七月五日（火）告示、十日（日）投票と決まりました。開票は、投票当日の午後七時から有鄰館で行われます。

補正 道路の新設などに 予算 一億三千万余り追加

昭和六十三年一般会計予算に
一億三千五百九十八万円を追加、
歳入・歳出予算の総額は二十四億
九千八百七十五万九千円となった。四千万
主な内訳は次のとおり。
簡易水道特別会計へ繰出▼二百

二十九万円
高村地すべり関連工事費、農地
農業用施設小災害復旧費など▼二
百九十一万八千円
農道整備費▼三千七十五万四千円
林道新設改良費▼七百九十六万
道路維持費▼七百五十万円
道路新設改良費▼五千三百三十三

万七千円
除雪車購入費▼千七百九十五万円
総合開発センター屋根、玄関改
修等工事費▼七百万円
大琴小学校門整備、遊具購入費▼
二百三十九万三千円
中学校寄宿舎消火設備修繕工事
費など▼二百三十五万九千円
特別会計は割愛しました。

深山線▽一期分百回を発注、二
期分は六月中に発注する予定。
鞍骨線、杉森線▽七月中に発注
する予定。
高村線▽地すべり箇所は、県営
地すべり災害復旧事業として工事
を進めることになり、十月までに
は応急の復旧工事を終えるよう、

県に強く要望している。（その他
の路線は紙面の都合で割愛）
八塩小、大琴小プール▼補修工
事は、夏休み期間中の使用に支障
のないよう、七月下旬まで完成す
る予定。
大琴小グラウンド▼拡張整備工
事は、今秋に完成を予定。

投票できる人

投票できる人は、町の住民基本
台帳に登録され七月十日現在満二
十歳以上の人（昭和43年7月11日
以前に生れた人）で、今年四月四
日以前から引き続き町内に住んでい
る人です。

てください。宣誓書は選挙管理委
員会で準備しています。

投票の時間と場所

投票日の投票時間は午前七時か
ら午後六時までですが、袖山、松
柴、高村、祝沢、黒沢、大台、杉
森地区投票所は時間が繰り上げら
れ、午後五時で閉じられます。
各投票所は左記のとおりです。

ポスターは、公営揭示場に

町では、選挙運動の公平化を図る
ため、町内五十八カ所に公営ポス
ター掲示場を設置します。これ以外へ
のポスターの貼り付けは条例により
禁止されていますので、立候補者や
関係者の方は十分注意してください。

不在者投票

投票当日、やむを得ない用事の
ため投票所へ行けない人は、不在
者投票ができます。

不在者投票ができる期間は、告
示日の五日から投票日前日の九日
までで、時間は午前八時三十分か
ら午後五時までです。

〈町内で不在者投票をする場合〉

町の選挙管理委員会（役場内）
に印鑑持参で出向き、投票日に不
在になることを申し立て、宣誓書
にその旨を記載して署名・捺印し

郵便投票

重度の障害を持
ち、投票所での投
票が困難と認めら
れる方は、郵便に
よる投票ができま
す。家族などが選
挙管理委員会に、
障害者手帳と印鑑
持参で出向き、早
めに手続きをして
ください。

●東由利町投票所一覧

投票区	投票所	前回投票率
第1	八塩館	95.42%
2	住吉会館	97.34
3	袖山館	98.21
4	八塩小学校体操場	94.63
5	松柴地区集会所	96.25
6	老方館	96.24
7	祝沢地区集会所	92.06
8	高村分校体操場	91.89
9	克雪管理センター	93.91
10	大蔵館	95.29
11	黒沢地区集会所	94.38
12	大琴小学校体操場	96.62
13	杉森地区集会所	97.72
前回町全体の投票率		95.66

畜産町共進会

10産以上の多産牛54頭を表彰 肉用牛62頭、乳用牛18頭が出陳し体型、資質を競い合う

第三十三回町畜産共進会が六月二十日西山の畜産広場で開かれまし

た。今年には肉用牛六十二頭、乳用牛十八頭の出陳が合わせて八十頭が出陳され、農家の方々が丹精込めて育て上げた自慢の牛の体型、資質などを競い合いました。審査の結果優等賞は別掲のとおりで、このほか

団体賞には肉用牛部門で①久山和牛改良研究会、②大琴畜産改良組合、③館合和牛組合が、乳用牛部門で①宿地区、②蔵地区が入賞を果たしました。

また褒賞授与式で、「和牛多産功労牛表彰制度」に基づき十産以上の出産経歴を持つ五十四頭の和牛を表彰しました（別掲）。この

表彰制度は、繁殖牛の飼育を奨励するため町が今年度から新設したもので、畜産規模拡大の一環として今後も継続していくものです。

四つ子の子牛を展示 飼養者の努力を高く評価

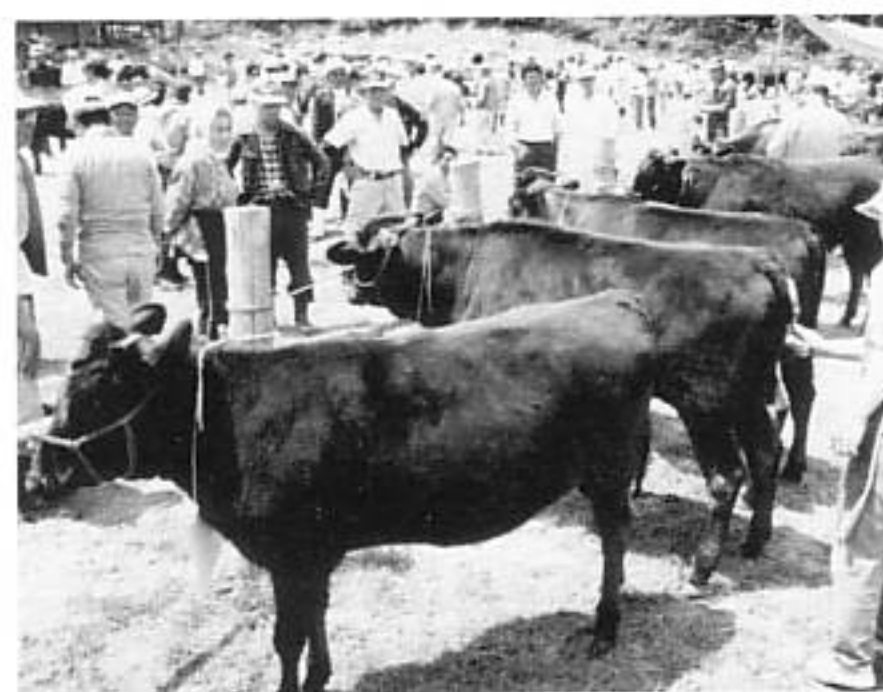
今年の共進会には、昨年九月十日山崎の小松睦雄さん所有の牛

「はなこ」から生れた四つ子の子牛が特別に展示され、四頭とも元気づけを發揮し人気を呼びました。

展示された四つ子は雄の「凡天」、「虎菊」、「小十郎」、雌の「めぐみ」で、いずれも他の子牛に劣らない体型に成育しており、見学に集まった人々は皆

「よくもここまで育て上げたものだ」と口々に話し飼養者の努力を高く評価していました。

飼育を担当してきた小松さんの妻・良子さんは、「皆かわいくて手離したくない。しかし手元にくくこともできないので、思い切つて七月の市場に出す予定です」と、重い口ぶりで話していました。



共進会に展示され人気を呼んだ4つ子の子牛

東由利町多産功労牛表彰一覧

●特別多産功労牛

名	号	産歴	住所	飼養者
と	み	16	舟木	浅田 民義
さ	かえり	2	上通	藤原陽太郎

●多産功労牛

名	号	産歴	住所	飼養者
ただ	はる	14	山崎	小松 良一
たき	ひめ	14	大台	石綿徳市郎
や	よい	2	山崎	小松 良一
さ	よ	み	横渡	小笠原照
か	ず	ふ	岩	石渡 一雄
ま	か	ま	新	工藤 三雄
か	ま	つ	岩	阿部 彦八
ふ	く	こ	津	佐藤徳一郎
ひ	ら	す	蔵	阿部 久孝
よ	し	か	新	小笠原豊記
ふ	じ	む	新	遠藤 熊雄
な	か	よ	石	佐藤 清隆
第	1	の	新	遠藤 熊雄
第	4	きん	蔵	小野 源一
ふ	じ	こ	新	遠藤 良夫
か	ね	ひ	〃	〃
と	よ	ひ	〃	〃
き	ち	よ	杉	阿部 初三
と	し	こ	向	佐藤 秀也
は	つ	み	館	遠藤 正輝
こ	ま	つ	(館)新	小松 正雄
た	け	こ	〃	畑山 吉光
と	よ	は	須	小野 金蔵
第	4	はる	蔵	小笠原一郎
み	よ	し	黒	木島 忠一
さ	ち	こ	新	遠藤 熊雄
ま	つ	ひ	小	遠藤 松志
第	6	しん	高	小野ミドリ
な	る	み	下	畑山 清一



第33回町畜産共進会優等賞受賞一覧 (出陳者敬称略)

名	号	住所	出陳者
●黒毛和種・育成区			
ふ	く	は	な
5	の	9	下吹 畑山 藤悟
●同・若牛区			
か	ず	は	な
			蔵新田 小笠原一郎
●同・成牛1区			
か	つ	ふ	み
7			山崎 工藤 武雄
●同・成牛2区			
ふ	く	つ	ば
き			(館)新田 高橋 勝美
●同・成牛3区			
ふ	じ	み	6
			宿 小野 祐喜
●同・繁殖雌牛群区(1産以上)			
ひ	ろ	ひ	め
13			久保 下田三太郎
ひ	ろ	ひ	め
12			
み	つ	ひ	め
4	の	4	
●同・同・(2産以上)			
ふ	く	ひ	め
2			大琴畜産改良組合
は	る	ひ	め
に	し	き	4
●ホルスタイン種・未経算の部			
フ	ィ	ン	ラ
ン	ド		
エ	ン	バ	ラ
ー			
プ	リ	ン	セ
ス			
舟	木		大庭テツ子
●ホルスタイン種・経算の部			
フ	ィ	ン	ラ
ン	ド		
ラ	ン	チ	キ
ット			
ク	リ	ス	タ
ン			
舟	木		大庭テツ子
●ジャージー種			
ウ	ィ	ロー	ロマ
ン	ス		
ミ	ル	キ	ー
ソ	フ	ィ	ア
島			畑山 裕美

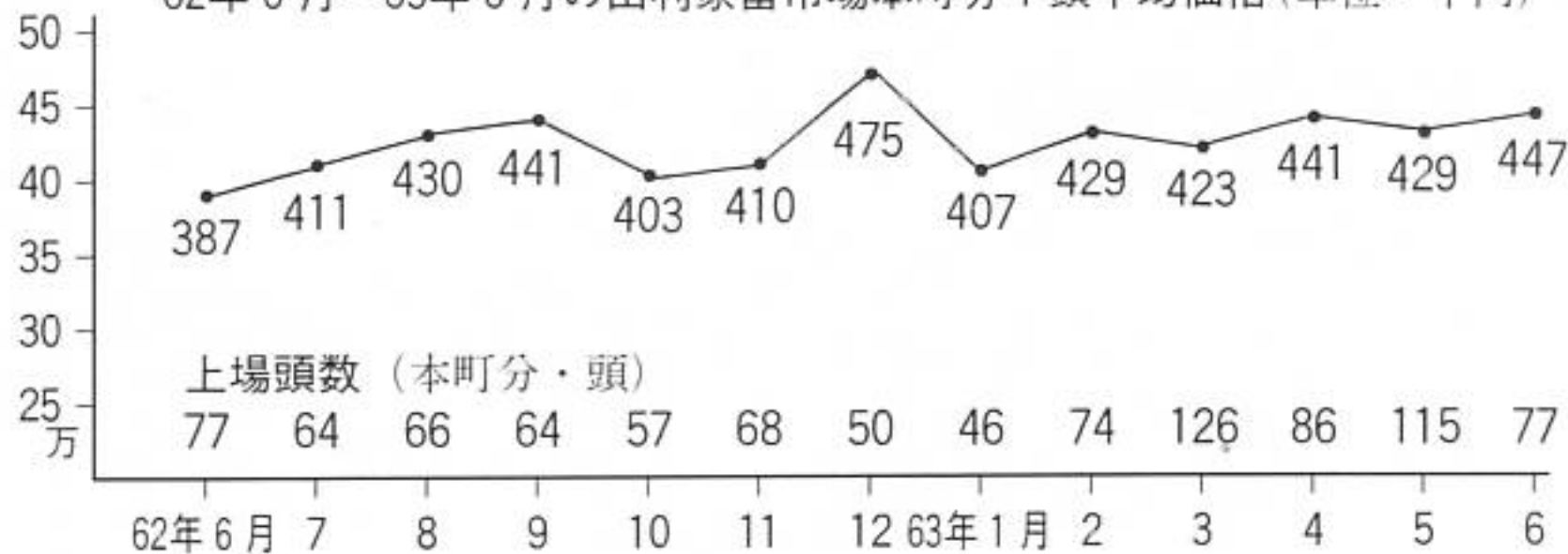
八十頭の牛が出陳して体型などを競い合った町畜産共進会

高値続く子牛価格

6月市場1頭平均価格は 前年同期より約6万円増

子牛価格の1年間の動向

62年6月～63年6月の由利家畜市場本町分1頭平均価格(単位・千円)



六月八、九日に開かれた由利家畜市場で、本町から上場の子牛が一頭平均四十四万七千円と、前年同期を約六万円で上回る好価格で取引されました。

同価格は、過去一年間では昨年十二月の四十七万五千円に次ぐもので、今年に入ってから三月と五月の市場で多少値が下がったものの全体的に高値が続いています。

こうした子牛価格高騰の背景には、全国的に畜産農家が減少し生産頭数が減っていること、また依然として円高により飼料の安値が続いていることなどがあげられますが、牛肉の輸入自由化など新しい問題も絡んできていることから今後の動向が気になるところです。畜産農家にとっては高値に恵まれることなく、安定した経営感覚を持つて今後の畜産経営に取り組んでいくことが望まれます。

試験乗り越え酪農経営に従事 大庭喜右衛門さんが、 優良酪農家として表彰



大庭喜右衛門さん

秋田県が集約酪農地域の指定を受け三十年がたったことを記念し、五月六日秋田市八橋の農協ビルで開かれた記念大会の席上、本町酪農家・大庭喜右衛門さん(舟木・59歳)が県酪農連盟会長から優良酪農家として表彰されました。

大庭さんは昭和三十三年に乳用牛を導入、以来乳価問題、生産資材の高騰、生産調整などの厳しい試験を乗り越えながら酪農に従事、現在は長男夫妻とともに酪農経営に情熱を燃やし頑張っています。

つよし	あさひめ	よしはな	第3ともこ	ちよひめ	おくまさ	だいきち	はるひめ	ひろはな	よしひめ	まなつ	なかつ	なつひめ	ふじさか	たけふじ	さち	はるみ	たけひめ	第11おかはな	とちひめ	たけみ
11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
下吹	岩館	野田	宿	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒瀬	山崎	須郷	大琴	〃	下吹	蔵新田	士の前	新処	宿	津沢
畑山	石渡	阿部	小野	小野	小松	鈴木	〃	〃	〃	佐藤	工藤	小野	佐々木	鈴木	畑山	遠藤	小笠原	佐藤	工藤	小野
清一	一雄	左門	一雄	清幸	篤	博昭	〃	〃	〃	幸一郎	貞雄	民治	正男	国義	勲	賢一	秋夫	勇雄	俊雄	長光

町長 随想

稲作プラス畜産

町長
畠山 亮二郎

な新しい一頁をひらくこととなる。この新しい時代の節目を、喜びとともに新たな決意で迎えたい。稲作プラス畜産の、基盤整備を終

…これは、私の町政第二期の行政方針である。出羽丘陵の緑と、豊かな東由利盆地は、まさに、稲作と畜産を活かす天与の大自然である。これ

設。畜産農家の競いの場(土俵)をつくり、共進会の発展をはかった。その二つは、「畜産振興指導員制度」の導入。畜産専門家を委嘱し畜産農

る増頭を果たした。そして第四弾として今年には、「多産功労牛表彰制度」を発足させ、一頭十産以上の功労牛を表彰して、繁殖牛の奨励を行うこととした。

えた新しいスタートは、―「あきたこまちと由利牛の里東由利」―のシンボル塔が、活かされる新しい農業時代の幕あけである。「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」

まで、このことに視点を合わせながら、幾つかの施策を積み上げてきたが、畜産振興策にしばってこれをふりかえってみよう。

そのひとつは、「畜産広場」の建設。畜産振興意欲を啓発した。三つには、昨年度発足させた「肉用牛増頭対策奨励金制度」。実数に

あつて欲しいと願うこのごろである。

―緑がこだまする東由利町―。出羽丘陵の山なみが、新緑に彩られるころになると、東由利盆地は、大自然の恵みの中で活きつき、ふるさとに生きる喜びをかみしめる季節となる。この自然との調和をはかりながら生きる農業。稲作プラス畜産。町では、これをわ



723人をぎょ招待 長寿祝い金を23人に贈呈

四百六十人が元気に出席
畠山町長がご労苦に感謝

町敬老会が六月二十一日から三日間、有隣館、高瀬館で行われました。

今年の招待者は町人口の十二割にあたる七十歳以上のお年寄り七百二十三人で、このうち四百六十人が元気に出席しました。

敬老式では畠山町長が、これまでのご労苦への感謝と励ましのあいさつのあと、九十歳以上のお年寄り二十三人に長寿祝い金を、米寿（八十七歳）を迎えられた十二人に敬老祝い金を、八十歳を迎えられた三十六人に肖像写真と鳩杖を、金婚を迎えられた十七組のご夫婦に祝い金と記念品をプレゼントしました。

町一番の長寿者は、女性には佐々木ミネさん、男性は鈴木寅治郎さん

町一番の長寿者は、女性では今年四月二十日に百一歳を迎えられた大琴の佐々木ミネさん、男性では六月十二日に九十五歳を迎えられた袖山の鈴木寅治郎さんです。お二人ともますますお元気で、町の長寿記録を伸ばしてください。

金婚案内者は過去最高
敬老会で仲睦まじさ披露

また、今年の金婚案内者は十七組でこれまでの最高を記録しました。敬老会にはほとんどが二人そろって出席し、仲睦まじく振る舞っていました。これからもどうぞお二人仲よくお幸せに。

長寿祝い金贈呈者（敬称略）

佐々木	ミ	ネ	101	大	琴
佐藤	ア	キ	96	五	海保
鈴木	寅	治郎	95	袖	山
梅津	ヤ	ス	94	大	琴
遠藤	徳	太郎	94	新	処
高橋	チ	ヨ	94	上	通
小野	ハ	ツ	93	祝	沢
畑山	タ	キ	93		蔵
小野	夏	五郎	92	土	場沢
遠藤	吉	三郎	92	新	処
大庭	キ	ヌ	92	舟	木
遠藤	ナ	ヲ	91	上	通
遠藤	房	吉	91	新	新
小松	与	四吉	91	新	黒
小松	マ	ツ	91		蔵
石綿	キ	ヨ	91		蔵
佐藤	ト	ミ	90		蔵
小松	オ	ツ	90	新	町
伊東	ヒ	テ	90		蔵
佐々木	ノ	エ	90	大	琴
畠山	友	太郎	90	袖	山
小野	久	兵衛	90	上	里
阿部	喜	代蔵	90	大	琴

金婚
おめでとうございます
（敬称略）

小松	小松	阿部	大沼	太田	遠藤	伊東	畠山	畠山	小松	斎藤	佐藤	工藤	小松	鎌田	佐藤	小松
イサオ	ミヨ	マチヨ	ノブヨ	ミエ	ミエ	タケミ	ミエ	イヨ	イクエ	ミエ	ヨシミ	サタ	マサヨ	ヨシミ	リツ	ヒサエ
正慶	正六	久次郎	秀二郎	千代三	光蔵	政太郎	竹三郎	久八	春松	清	盛永	辰五郎	松治郎	宇一郎	正一	作蔵
69	73	71	71	66	68	70	68	75	74	69	75	78	75	72	70	69
73	71	66	70	68	70	72	68	68	75	74	68	84	74	76	72	76
畑村	黒沢	十二前	蔵新田	蔵新田	蔵新田	横渡	寺田	新町	新町	家ノ下	新沢	久保	石高	黒渕	葎沢	葎沢

おじいさん、おばあさんありがとう

『敬老会作文発表から』



「おじいちゃん、おばあちゃん、けんこうでいてほしいと思います」

八塩小学校六年 小松 町果

私の家にはおじいさんとおばあさんが二人います。二人とも、もう六十を過ぎました。いつも私が帰ると、おばあさんはげんかんまで来て、私のにもつをもって家の中に入ります。おじいさんは、東京にでかせぎに行きます。おじいさんの手や足には仕事でつくったきずがあります。

私は、おじいさんやおばあさんは、けんこうでいてほしいと思います。五年生の時に、東光えんに行つて、体の具合の悪い人たちに、いろいろな歌やおどりを見せてあげました。かたをたたいたりする時に、私の手を、ぎゅつとにぎるおじいさんやおばあさんもいました。

いる人たちはたくさんいました。その時、私はおじいさんやおばあさんは、自分の家のまごのことを思い出しているのではないかと思います。自分の体が自由にならないで、困っている東光えんの老人を見た時、私の家のおじいさんやおばあさんは、幸せだと思います。

させようと思います。おじいさんはむかしのあそびをよくしっています。とくに竹とんぼなどはしっていると思うので、ファミコンばかりせずに、おじいさんと二人で竹とんぼあそびを、たのしくしたいです。またそのほかにも、おじいさんはいろいろなことをしていいので、役に立つことをおしえてもらいたいと思います。

おじいさんやおばあさんはいつも私たちのために、いろいろなことをしてくれまます。それに、私が部活のスポ少でおそくなつても、夕ごはんは私がくるまで、食べないでまっています。おやつもきちんと私の分を残しておいてくれます。おばあさんは私に「おなかをすかせてくるから、少しおめにおやつを残しておいたよ」といっておやつをくれます。私はいつも感謝をしながら食べています。



「働くことよりも、体をいたわってほしいと思います」

高瀬小学校五年 石渡 仁久

おばあさんは、父さんや母さんが仕事に行っている間に茶わんをあらったり、せんたくをしたり、そうじをしたりします。畑にも出ます。やぶけた洋ふくは、目立たないようにぬつてくれます。おじいさんは、田んぼを見たり、木を切ったりします。

ぼくのおじいさんは、とてもはたらきものです。春は田うえ、夏はいねのしごと、秋はいねかり、冬はでかせぎ、このほかにも牛のせわや新開くぼりなどたくさん仕事をしています。

おじいさんの年は六十三さいです。そのわりにははたらきすぎではないかと思っています。雨の日でもひまなくはたらきに行きます。ぼくたちもできるだけ、新聞くぼりや牛のせわなどを手つだい、おじいさんをらくにするようにしました。

どっちもすきです。でも、どっちかというとおじいさんがすきです。わけは、ぼくにとってはとてもやさしいからです。おじいさんもおばあさんも、いつでも長生きしてほしいです。

東由利歴史散歩

文・畑山昭二（町史編集室）

川底だった根城

歴史を語る「河岸段丘」

「段丘」と「浸食段丘」



上里～宮の前の「河岸段丘」

根城の遠藤太郎さん宅付近が、かつては川だったといつても信じますか。ところが昨秋、国道一〇七号線の改修工事が行われている同地点を、東由利中学校の生徒が理科の野外学習で調査したところ、現在未舗装で工事中の地帯に川床であった証拠を見つけてきました。その状態はスライドにとつています。

東由利地内を流れている川は、古くから高瀬川の呼び名で親しまれている本流と、松沢・祝沢・法内・袖山・黒沢・杉森の各川が、主な支流として流れ込んでいます。川とのかかわりは縄文時代人の狩猟・漁撈の生活から、弥生時代に稲作が入り、川の近くや水を引くのに便利な所を耕地として次第に定住

するようになりました。この耕地の多くは「河岸段丘」といい、川の流れるによる浸食によって川岸に沿った斜面が、階段状になった地形で川沿いに多く見られます。東由利の場合は浸食段丘（河成段丘とも呼ぶ）がほとんどで、例えば傾斜の緩やかな段丘としては、高瀬川右岸の上里・宮の前の間に広がる耕地がそうです。かつては川が道路付近を流れていたのが、浸食によって今の川の高さまで下ったんだものです。ほかに下小屋地区、老方の真木田地区も同じと考えていいでしょう。傾斜の急な段丘として遠藤さん宅と根城館の間などは代表的な「浸食段丘」です。



秋田弁の名演技に 笑いと拍手の渦

「芝居とバラエティ
ショー」に千人の観客

本町では久々の本格的なステーションショーとなった、県出身の俳優山谷初男、斎藤忠生、佐々木愛による「芝居とバラエティショー」が、六月二十四日健康増進センターで行われました。

これは町連合青年会（畠山明会長）が実行委員会となり、教育委員会、公民館のバックアップにより実現したもので、前売り券の販売に苦慮したものの、当日会場には家族連れなどこれまでにない約



抱腹絶倒の喜劇「結婚申込」で熱演の3人

千人の町民が詰め掛け、抱腹絶倒の喜劇「結婚申込」と生演奏による歌・踊りなどを二時間余りにわたって楽しみました。

出演の三人は角館、五城目、秋田市の出身でセリフはすべて秋田弁。ユーモアたっぷりに演出された喜劇では会場から笑いが途切れず、名演技ぶりにたび重なる拍手が送られるなど、本物の芝居に観客は気をそらすことなく、終始酔いしれていました。

好評です「無人販売所」

横渡地区生活改善実行グループが生産意欲の向上などを目的に開設

国道・横渡バイパス沿いの「無人販売所」が通行人などから人気を呼んでいます。これは横渡地区生活改善実行グループ（阿部キヤ代表）が、転作作物の換金化による生産意欲の向上などを目的に町と農協の助成で開設したもので、余剰野菜を主とした山野草、花木、苗など、百円均一の価格を目途に安値で販売しているものです。

販売所の管理に携わる加藤キヌ子さんは「早朝に並べた品物は、通りすがりの人などにより夕方までにはほとんどが買い求められ、売れ行きの良さに驚いています。儲かるほどのものではありませんが、身近で豊富な生産資源の有効な活用で、生産に対する意欲の向上を図ろうとするものであり、みんな意欲的に取り組んでいることから、大きな成果が表われている」と話しています。



横渡バイパスに開設し人気呼ぶ「無人販売所」

三六〇歳は法内、 ママさんは 舟木が五連覇

ソフトボール大会

第二回三六〇歳ソフトボール大会（参加13チーム）と第十回ママさんソフトボール大会（参加5チーム）が六月十九日台山・町民両グラウンドで開かれ、熱戦の結果前者は法内が初、後者は舟木が五年連続五度目の優勝を飾りました。特に三六〇歳ソフトボール大会には二十代から六十代の幅広い年齢層の選手が出場し、年齢差を感じさせない好プレーが続出しました。



熱戦を展開した360歳ソフト

献血ありがとうございます

※・太字400cc・敬称、会場略

鈴木 博	工藤 昭義	工藤加奈子
石綿 工	工藤 正栄	森 知恵
佐々木 斉	高橋美栄子	小野 和行
阿部 喜円	畠山 明	小野 弘通
伊東佐藤志	佐藤 孝悦	小野 和仁
浅田 誠	小野 信子	木島 宏
伊東 民雄	佐藤 利一	石渡みゆき
小野 勤	小野 利彦	阿部江利子
大塚 和穂	石波 博澄	平野 剛
遠藤テツ子	畑山 敏	畠山マキ子
工藤 太一	佐藤 剛	鈴木 洋子
大日向 進	高橋 進	遠藤 晃
佐々木昌之助	小野 仁	高橋 鈴子
高橋 富男	阿部 勝好	小野 広子
鈴木美津子	佐々木奈穂子	浅田 浩子
小松 愛子	小野千登勢	小笠原孝子
阿部真喜子	佐藤サキ子	工藤まり子
阿部 道雄	遠藤由美子	長谷山節男
小松 正二	小野 静枝	梅津 和彦
小松 修一	佐藤 博美	佐藤 直子
嶽石 文弥	小松 静江	工藤サチ子
寅田タカ子	阿部 里美	渡辺 祥一
小野 肇	遠藤 紗織	小松 恵治
阿部 弘章	畠山真由美	

全国展で3点が入選

第四十六回全日本学生児童発明工夫展に、県発明工夫展で入選の本町小学校児童作品十一点を出品した結果、石けん箱（伊東隆子さん・高瀬2年）クレヨン巻紙切り取り機（佐藤成記くん・八塩3年）さるかに合戦（佐藤瞳さん・同）が入選を果たしました。おめでとうございました。

ヤングレポート フレッシュマン



佐藤秀俊くん (23歳)
下通・MTC向田工場勤務

小学校のときから『ポックン』の愛称で呼ばれ、その名の語源を「自分でも分からない」と頭を傾げて話す秀俊くんは、向田にある縫製会社「MTC」に勤めるフレッシュマン。今年で2年目になり、現在「裁断」を担当しています。仕事について「まわりに同じ年ごろの若い人がいて、励みにもなりとても楽しい」。将来について「仕事以外の時間はほとんど好きなことをしている毎日ですが、これから少しずつ先のことも考えていかなければ…」とポツリ。

結婚については「まだ先のこと」。理想は「あか抜けして世話好きなひと」と話す、はつらつフレッシュマンでした。

「ふるさとの味・宅配便」開始 ワラビ、タケノコ、笹 巻きなど四季の味直送

「ふるさとの味・宅配便」が昨年から「グリーン東由利自然の会」(遠藤熊雄代表)によって行われ好評を博しています。今年度もすでに三十二口の希望があり、先月下旬ワラビやタケノコなどの山菜と笹巻き、干し餅などをバックし第一回分として発送しました。

次回は八月下旬にアムスメロンやピーターコンなどの野菜と漬け物、最終回の十一月下旬にはあきたこまちの新米、きのこ、栗、甘酒などの発送が予定されています。会費は一口一万五千円で、入会者には町広報紙の送付、スポーツ施設利用料金の減免などの特典があります。都会に住む町出身者のみなさまに、ぜひ加入をすすめてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先▼グリーン東由利自然の会 ☎69-2554、または町役場企画財政課 ☎69-2110

今年も8月15日に開催

「ふるさと交流」にアイデアを

お盆帰省客など対象の「ふるさと交流」が今年も八月十五日に予定されています。現在イベント等について検討中ですが、主催する町では「マンネリ化を防ぎ、より楽しんでもらうために町民の皆さんからもアイデアをほしい」としています。ちなみに、これまでは町内めぐり、郷土芸能鑑賞、魚釣り、懇親会などを行ってきました。ご連絡は役場・企画財政課まで。



昨年の「ふるさと交流」(魚釣り)

記念誌発行などにご協力を!

「大琴小が礎石 101年、現校舎落成10周年迎え記念事業開催」

大琴小学校では、袖山小学校と宿小学校が創立して101年、現校舎が落成して10年目を迎えたことを記念して、今年9月に「記念事業・行事」を開催することにしています。

記念事業では、記念誌の発行・グラウンド拡張整備工事の完成にともなう新しい遊具の設置・校門・校章の入れ替え・農園・花壇など周辺環境整備などを行うほか、記念行事として、大運動会・学芸発表・記念式などを行う予定で現在準備を進めています。

このため「記念事業推進実行委員会」(梅津嘉一郎会長)では、地域住民をはじめ同地域出身者などの関係者に、寄付や記念誌の購入などの協力を呼び掛けています。事業等の成功のために多くの方々のご協力が望まれています。

事業等に関する問い合わせは、大琴小学校・☎69-2318までお願いします。

まちかど スナップ



地域をつくる 〃 よみがえった防火水槽

撮影(6/12)・阿部誠也さん(蔵新田)

日ごろから地域づくりやコミュニティ活動に熱心な蔵新田自治会で、このほど3日間にわたる老朽防火水槽の復旧作業を行い、立派に完成しました。

この防火水槽は、戦後地域内で発生した火災を契機に、当時地域ぐるみの作業により数カ月間かけて造り上げたものですが、近年水漏れなど老朽化が激しく、このたび自治会員が総出で町の指導や協力の基に、コンクリートの打ち込み、泥上げ、防護柵の取り付けなどを行ったものです。写真は復旧作業のひとつコマです。

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん、お母さん
ぼくのおとうさんは
やさしいです。



中の沢・くどうゆうきくん(5さい)

伝承・昔の遊び 4

螢
がり

新町・小松 和さん



絵・石渡力造さん

へほ ほ ホタルコこい あつち
の水はにがいぞ こっちの水はあ
まいぞ ほほ ホタルコこい…
むかし夏の夜、裏の田んぼや川

故郷のみなさんこんにち。もうすぐ暑い毎日の夏ですね。また海水浴のシーズンです。今は川で泳ぐことが禁止されていますが、私たちの小さいころは川でしか泳ぐことができませんでした。もち



ふるさとを想う 4
川でパンツ一枚で水泳ぎ
品川区旗の台・小泉チエさん(48歳・宿出身)



ろん海水着などといった立派なものもなく、女の子も男の子もパンツ一枚で水泳ぎを楽しんだものです。そして夏の楽しみといったアイスキャンデーを食べること。どうしてか、あの頃食べたアイスキャンデーが、今のものよりおいしかったように思えてなりません。さて、六月に同級生とハイキングをした折、ホウの木と出合い、葉に包んだキナコご飯を思い出しました。千草のにおいに、みんな懐かしいと声をたて、故郷の話に花を咲かせた一日でした。東京へ来て三十三年、東由利町は私の大切な心の財産となっています。

岸は小さなあかりを灯しながら飛びかう螢でいっぱいでした。ほうきのような大きい馬シカシカ(ギシギシ)を手によく螢がりをしたものです。捕まえた螢をそつとカヤの中に放してやると、あやしい光りが点滅します。眠っている妹の顔が、ほんのり青白く見えました。夢の世界にひたった遠く幼いころのロマンが思いおこされます。

ものしり家庭版 知っている便利、くらしの豆知識 4

冷房病にならないための
めの快適エアコン運転術

エアコンやクーラーなど、冷房の恋しい季節がやってきました。

冷房のききすぎた室内で長時間過ごし、体がだるくなったり疲れやすくなったり、またひどいときには頭痛や神経痛になったりしたことがありますか。これが「冷房病」の症状です。冷たい屋内と暑い屋外とを何度も行き来するだけでも冷房病にかかることがあります。

また、暑さの厳しい日は、室温を二十八度ぐらいにして、扇風機で送風するとさらに三〜四度は低く感じます。



定するのがコツです。それと、エアコンの吹き出し口から出る冷気は十三〜十五度という冷たさですから、その風に直接触れないように注意することも大切です。

健康ライフ

「とびひ」の季節、
常に皮膚を清潔にしましょう

指導・小松医院 小松良竹先生



夏に流行し、何でもないところに水ぶくれが出るのが特長です。治療は、汁がまわりの皮膚に付かないよう綿で吸い取りながら水疱を完全に取り除きます。そのあと抗生物質の軟膏をガーゼかリント布に塗って皮膚に貼り、包帯でまきます。予防は、常に皮膚を清潔にしておくことで、あとで炎症を起こすこともあることから、汗ばむ夏は特に注意が必要です。また、虫さされ、すり傷、湿疹などに続発することもありますので、手や爪は常に清潔にしましょう。

How to cooking

わが家の自慢料理

半塩梅干漬

横渡・阿部露子さん

塩分ひかえめでも、
おいしさはそのまま



健康に良いと、
家族に喜ばれています

〔材料〕・梅 2キロ・塩 2百グラム（従来の約半分）・五倍酢原液 百cc・ちりめんシソ（葉のみ）4〜5百グラム・塩（シソ用）40〜50グラム

① 1日水につけ、アケ抜きをする。



② 梅に塩をまぶし、五倍酢原液をふりかける



③ 梅の2倍の重石をする
1週間後に半分にす



④ シソを洗い、塩でもみ、黒いアク汁はすてる。

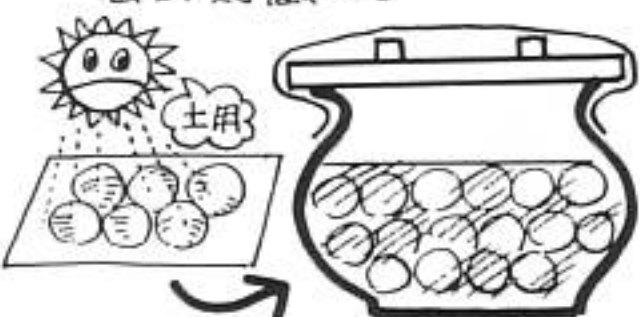


⑤ ④で出た梅酢を20cc加えて、もむときれいな色になる

⑥ 梅、シソを交互に入れ、シソ汁も加え、押し、軽い重石をし、密封する



⑦ 土用干しを2〜3日する
梅をもとの容器にもどし、重石をとり、上ブタをし、密封貯蔵する



子からホンネ本音親から

大琴小学校四年
高橋 恵さん

私は、いま卓球と陸上の練習を毎日いっしょけんめいやっていて、夜ねていてもつかれがとれないくらいです。
お父さんとお母さんへのおねがいは、日曜日にどこかにつれて行ってもらいたいことです。
月曜日におともだちから、遊びにつれて行ってもらったはなしをきくと、やっぱり私も行きたいです。いつも、いそがしい、いそがしいといわないで、たまには遊びにつれていってください。



須郷
高橋新一さん

毎日学校で卓球や陸上の練習にがんばっているようで、お父さんたちも感心しています。今のうちにスポーツでからだをきたえておくことは、大人になってから大変役にたつことです。これからがんばってください。
それから、今度は農作業も少なくなつたので、海につれていってあげたいと思います。ですから、毎日の勉強やスポーツにいっしょけんめいはげんでください。

歯の健康

妊娠中は栄養が重要です

脳卒中やがんの予防と同時に忘れてならないのが歯の健康ですが、いかがでしょうか？

町のむし歯の状況は郡内でも一番高く一・六才児で三・七割、三才児で九一・五割の保有率です。妊娠二ヶ月で早くも乳歯の芽が、三〜四ヶ月では永久歯の芽ができてはじめるのですから、丈夫な歯質をつくるためには、妊娠中の栄養が重要です。



今年度の新規事業として、二才児検診を行いました。日々の生活で母親を中心に、家族ぐるみでむし歯予防に取り組んでいる家庭のお子さんには、やっぱりむし歯のないことを感じました。歯や歯ぐきも脳や心臓と同様に大事な体の器官であることを今一度見直し、生涯を通じて自分の歯でものを食べ、会話もスムーズに交わし快適に暮らせるよう心がけたいものです。

（保健婦・伊東志津子）

東由利の文芸

ゆりかご句会五月定例会から

◆菊根分け老に一つの夢殖す
高橋秀子（横渡）

◆姑愛す菊の根分けを嫁の手で
菊池常作（湯出野）

◆菊根分け名札の失せて埒もなき
阿部義直（沼）

◆目なうらに花を咲かせて菊植える
鈴木徳蔵（舟木）

◆この品種菊の大輪根分けせり
小松慶治郎（高戸屋）

◆春の陽や友と語りて菊根分け
佐藤正義（湯出野）

初孫です

山崎・大場 望ちゃん・9カ月
隆さんと里美さんの長女



おばあちゃん・ミネさんの一言「早産だったため生れたときから小さいですがとても元気に育ちます。めんこくて、めんこくて…」



郷土の野草

文・写真 小松忠正

40

モミジガサ

(キク科)

ここではシドギまたはシドケといひます。林中の、やや湿り気のあるところを好み、濃緑色で光沢のある葉は、モミジ形をして互生します。葉は空洞で、独特のかわりがあります。山菜としてはA級で、群生していることが多く、一カ所で多量の収穫を得ることが出来ます。主におひたし、すもの、天ぷらなどにして食べます。この草は強壯効果があるほか、食欲増進、健胃、整腸などの薬効もあります。

6月★町のミニ統計

●人口()は前月比

- 男 2,948人(4)
- 女 3,076人(7)
- 計 6,024人(11)
- 世帯数1,449戸(△1)
- ()は1月からの累計
- 出生4人(24) ●死亡2人(29)

(5/1~5/31)

- 転入16人(52) ●転出8人(94)
- 結婚2組(7) ●離婚0組(0)
- 火災0件(0) ●救急車出動10件(38)
- ごみ処理量39t(96)
- 交通事故2件(5) ●死者0人(0)
- 傷者2人(5) ●飲酒運転0人(0)
- 酒気帯び0人(0)

7 町民カレンダー

- 3・町消防操法伝達講習会(9時~台山グラウンド)
- 5・町議会議員選挙告示
- 5・20・結核検診・循環器検診
- 10・町議会議員選挙投票日
- 13・ことぶき大学(10時~朋楽荘)
- 17・町消防訓練大会(9時~台山グラウンド)

善意

町社会福祉協議会に、ご芳志として佐藤俊一さん(寺田)から金一封が、東由利農協から米十五キロが届けられました。

ありがとう



ピックアップ

成人病などの早期発見のため、結核検診と循環器検診が七月五日から二十日まで町内八ヶ所で行われます。

この検診は年に一度の、自分の体をチェックする最良の機会です。すでに各家庭に通知書等が配付されていると思いますので、日時、場所等を確認のうえ必ず受診されるようお願いいたします。

戸籍だより

(5/21~5/20届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

5/6 畑山 未希(豊隆二女)下小路

5/6 高橋 司(栄記三男)杉森

5/2 佐藤 泉(力弥三女)宇戸坂

5/3 木島 和也(昇子二男)横渡

5/6 莊野麻衣子(和浩長女)松柴

●ご結婚おめでとう

5/6 永沢 章市(家ノ下)

5/6 佐藤 悦子(西目町)

5/6 小野 良雄(大琴)

5/6 斎藤美和子(本莊市)

●ごめい福をお祈りします

5/6 佐藤 根二(61・イデ・夫)寺田

5/6 小野 キノ(60・朝男・養母)高屋

5/6 佐藤 力蔵(69・エチノ・夫)新田

町民の声を町政に！ 町長面会日は今月20日

26・28・五年生宿泊訓練(保呂羽山少年自然の家)

27・29・六年生少年自然教室(八塩キャンプ場)

28・一回目航空防除

28・機能訓練教室(13時~東光苑)

29・人権相談(10~15時・役場)



悩みごと何でも相談

【相談】私の長男は高校時代から非行の仲間に入り、親に反抗して来た。成人になった現在も就職しないでブラブラしている。それが最近、自分には相続権があるから、その分を今すぐほしいといってきた。どうしたらいいか。

【対応】相続権は、あなたの死亡によって初めて長男に生ずる権利です。長男は将来、相続によって財産を相続する可能性と、相続の期待があるだけで、期待権という権利は有していませんので、父に財産を分けてくれと請求はできないのです。(町心配ごと相談所)

編集室から

アンケート調査へのご協力ほんとうにありがとうございます。

ご意見をいただきました。今後の紙面づくりに生かさせていただきます。またご意見の中には「投書欄」を望む声も多くありました。投書はお寄せくだされば必ず掲載します。なお、匿名を希望する場合でも住所・氏名は必ずお書きください。(広報係)

